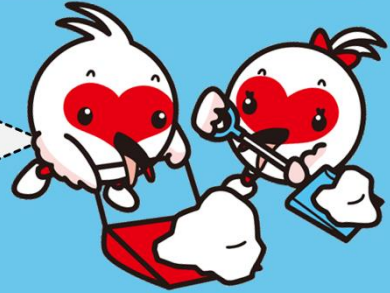


# 補助金のご案内

安心とゆとりを生む！  
克雪住宅で



下記の市町では、屋根雪下ろしが不要となる「**克雪住宅**」の新築・リフォームの費用の一部を補助しています。  
申請手続きや整備の基準などのより詳しい内容は **建設地の市町へお問い合わせください！**



市町名	区域	タイプ別の補助限度額						令和7年度 受付期間	問い合わせ先	電話番号						
		融雪		耐雪		落雪・高床落雪										
		要援護世帯 ※1	一般世帯	要援護世帯 ※1	一般世帯	要援護世帯 ※1	一般世帯									
長岡市	長岡地域、越路地域、山古志地域、小国地域、栃尾地域、川口地域	55万	44万	44万	33万	44万	33万	4/1~10/31	長岡市都市政策課	0258-39-2265						
柏崎市	市内の一部 ※2										4/1~11/28	柏崎市 建築住宅課	0257-21-2291			
上越市	大潟区、頸城区を除く 市内全域													4/1~11/28	上越市 建築住宅課	025-520-5786
小千谷市	市町内全域															
湯沢町	市町内全域	4/1~10/31	湯沢町 建設課	025-784-4852												
魚沼市	居住誘導区域 ※3	100万	100万	100万	100万	100万	100万	4/1~10/31	魚沼市 都市整備課	025-793-7991						
	上記以外の区域	55万	44万	44万	33万	44万	33万									
十日町市	中心市街地区域 ※4	77万	66万	66万	55万	44万	33万	6/10~10/31	十日町市 都市計画課	025-757-9935						
	上記以外の区域	55万	44万	44万	33万											
妙高市	市内全域	82.5万 ※5	66万 ※5	82.5万 ※5	66万 ※5	82.5万 ※5	66万 ※5	4/14~12/12	妙高市 建設課	0255-74-0026						
南魚沼市	市内全域 ※6	55万	44万	55万	44万	対象外		4/1~11/28	南魚沼市 都市計画課	025-773-6662						
阿賀町	町内全域	50万						4/1~10/31	阿賀町 建設課	0254-92-5765						
津南町	町内全域	55万	44万	55万	44万	44万	33万	4/21~10/31	津南町 建設課	025-765-3116						

令和7年6月2日現在

※1 高齢者世帯、身体障がい者世帯、精神障がい者世帯、知的障がい者世帯、ひとり親世帯など各市町で認める世帯  
 ※2 鶴川地区、高柳町地区、中鱒石地区、南鱒石地区、別俣地区、野田地区、北条地区、上米山地区、中通地区、上条地区、北鱒石地区、田尻地区、高田地区  
 ※3 魚沼市立地適正化計画で定められた、生活サービス等が持続的に確保されるよう居住を誘導する区域  
 ※4 具体的な区域については十日町市にお問い合わせ下さい ※5 工事対象経費は既存住宅の克雪化改修経費（新築・改築は対象としていません）  
 ※6 地下水採取規制重点区域内のみ事業所も補助対象

新潟県克雪住宅普及促進協議会（事務局：新潟県建築住宅課）

# 雪に強い住まい ～克雪住宅～

新潟県では、以前から落雪式や融雪式などの雪に強い“克雪住宅”が建てられてきました。最近では、様々な新技術の開発や新材料の発展とともに、より雪に強く快適なものが建てられています。克雪住宅にはいくつかの種類がありますが、それぞれの特徴を理解し、敷地の広さ、積雪量等の条件に合わせて適した方式を選ぶことが重要です。

## 融かす

## 耐える

## 落とす

	融雪式	耐雪式	落雪式(高床落雪式)
どんな住宅？	<p>熱エネルギー(電気、ガス、灯油等)の利用により、屋根雪を融かすことのできる施設を有するもの。</p> <p>※融雪範囲、方法、熱源等、いくつかの種類があります。</p> 	<p>構造を強くして積雪に耐えられるようにしたもの。</p> <p>構造計算等により所定の積雪量に耐えうる強度の構造にした住宅。</p> 	<p>屋根雪を人力によらず落下させる屋根構造を有し、敷地内で雪処理できるもの。</p> <p>落雪により地上階の生活に支障をきたすため、基礎を高くする(高床式)ことが有効。</p> 
敷地面積の制約	○ 敷地に余裕のない場合に適する。	○ 敷地に余裕のない場合に適する。	× 落雪の貯雪スペースが必要なので、敷地に余裕がある場合に適する。
リフォームの可否	○ リフォーム	× リフォーム	△ リフォーム
建設費	小	大 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、大断面木造など構造耐力アップのための建設費用が増大する。	中(大) 高床式にする場合、基礎部分の建設費が増大する。
維持費	大 融雪装置のメンテ費用及び燃料費等のランニングコストがかかる。	小 ☆所定の量以上の積雪があった場合は雪下ろしが必要。	小 ☆雪が滑りやすいよう、屋根面の塗装の定期的な塗り替えなどが必要。
その他の特徴	☆密集市街地などで多くの雪が降る地域に有効。 ☆融雪水の凍結によるつららの危険性あり。	☆屋根雪の荷重に耐えられるよう、壁や柱の位置、間取りへの配慮が必要。	☆落雪による事故防止への配慮が必要。 ☆高床式にしない場合、落ちた雪の処理が必要。



克雪住宅ガイドブック



克雪住宅事例集



克雪住宅チェックシート

新潟県 克雪資料 **検索**

**克雪住宅等に関する資料を無料で配布しています！**

県は克雪住宅の概要などをまとめた資料を作成し、配布しています。また、下記のURLまたはQRから県ホームページにアクセスすると、PDFデータをダウンロードすることもできます。

克雪住宅を知りたい、つくりたい (新潟県ホームページ)

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jutaku/1264971691376.html>



【お問い合わせ先】 新潟県土木部都市局建築住宅課

TEL : 025-280-5442 FAX : 025-285-6840 メール : ngt160030@pref.niigata.lg.jp

